

# 南部っ子



谷地南部小 学校便り  
R4. 12. 22  
NO 8  
校長 小山田 聡

## 今年度のキーワード 「一步踏み出す力」「チーム力」「考え抜く力」

「卒啄同時」という禅語があります。鳥の雛が卵から生まれ出ようと殻の中からつつくのと、親鳥が外から殻を破る手助けを同時に行うことを意味します。親鳥は雛が殻をつつく音を聞き分けて、時には強く時には弱く外から破る手助けをするそうです。あたかも雛鳥が自分の力で外へ出てきたかのように。

W杯で日本中を熱狂させたサッカー日本代表。選手個々が自分の役割やその特徴（個性）を生かし、仲間と連携し、その一瞬一瞬の状況を自分で考え判断してプレーする姿と、育成や練習の時から信頼関係を築き、戦術や采配によって選手を鼓舞する監督の姿が同時にありました。サッカー界は、監督の顔色を伺い、指示された通りのことを選手がさせられるスタイルから、プランや戦術の中で、主体性と協働性をもってプレーする新時代へと突入しました。

学校教育も新時代に入り、これからの社会を生き抜くために必要な主体的・対話的で深い学びが主流となっています。与えられものをこなすだけでなく、自ら課題を捉え思考・判断してものごとを自分で切り開く。「一步踏み出す力」・「チーム力」・「考え抜く力」、社会が求める基礎力の育成に向けてこれまで行ってきた取り組みを評価しながら、3学期にさらなる成長を目指したいと思います。

サッカー代表の活躍に日本中が幸せな気持ちになれたあの日、あの時。谷地南部小の子どもたちが、今そして未来にも、それぞれが幸せを実感できるように、自立に向けた支援を「卒啄同時」に行っていきたいと思えます。

保護者・地域の皆様からの温かい励ましが子どもたちの成長の支えになっていることを強く実感しております。3学期も、どうぞよろしくお願い致します。

「一步踏み出す力（主体性）」

「チーム力（協働・対話）」

## 第3回学校運営協議会 つなげよう 学校と地域 人とひと

12月9日、第3回学校運営協議会が開催されました。5時間目の授業通覧のあとに今年度の活動報告と、熟議が行われました。熟議では、各委員の母校への思い出とともに、120周年に向けてのアイデアをグループで考えました。「子どもたちが何をしたいか」「子どもたちに夢を語ってもらおう」etc 子ども主体のものや子どもが考えたことに協力していきたい等の意見が出されました。



今年度は、多くの方が地域ボランティアとして学校に足を運んでくださっています。子どもたちの教育の質の向上につながっていると同時に、「子どもたちと関わって元気が出ました。」「いい取り組みがあって、子どもたちも明るい」等励ましのお言葉をたくさんいただき、それらを担任に伝え、それが子どもたちにもいい影響を与えている好循環となっていることを活動報告と合わせて紹介させていただきました。

委員の皆様からも、毎日の通学時の見守り、今後のだんご木飾りや図工の支援など、自ら主体的に協力してくださっていることにも、深く感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 地域とともに子どもを育てる 「地域学校協働活動」



【書初め・朝鳥さん他3名】【バレーボール・佐藤さん】【WayWay クレープ・阿部さん】【キューブ・丸谷さん・武田さん】【歴史・高橋さん】

## 食育～イタリア野菜から学ぶ

6年生の家庭科「まかせてね今日の食事」に、かほくイタリア野菜研究会の生稲さん（本校PTA副会長）からご協力をいただきました。イタリア野菜それぞれの特性に合ったメニュー・レシピづくりで、子どもたちは、ピザ・ポトフ・シチュー・生ハムサラダ等で調理の工夫を学びました。地域の食材を、その旬にその特性に合わせた調理で味わうことができることが、いかに豊かで幸せなことかを都会に住んでいた経験と絡めて子どもたちに伝えてくださいました。

【イタリア野菜研究会 生稲シェフ】



【食育指導】

12月6日から13日までの間、「心を育む給食週間」が行われました。校長講話では給食の歴史や食品ロス、地産地消から地域を大事にする気持ち、石山栄養教諭からは生活習慣病や病気から守るバランスの取れた食事やマナー、食の安全などの食育の授業を各学年でしていただきました。

## 「考え抜く力（解決・創造）」

## 個別最適な学び・協働的な学び

### SUW 個人総合探究学習

### 5・6年生（総合：15～20時間）

自分で課題を見つけ探究する学び、ステップアップワークもいよいよ大詰め。興味関心から追究する姿、その取り組むプロセスは子どもたちの将来に大いに役立つことでしょう。一部紹介します。



【プログラミング】【魚のウイルスの研究】

【手話】

【ルアー作り】

【極ピアノ】

【星の研究・2年生】

2年生は、国語【おもちゃの作り方】で「ざいりょう」「作り方」「楽しみ方」等、説明の仕方をみんなで学び、学んだことを活かして個々の「おもちゃ作り」を説明文に書いて1年生にプレゼンします。他の学年でも、国語で学んだことを活かして、自分の作品を発表する言語活動が相手意識を明確にして行われています。算数もそうですが、学んだことを自分のものにしてから応用していきます。応用の過程でまた理解が進化。個別最適・協働的な学びはあらゆるところで、生きる力に結びついていきます。



【1年：じどう車ずかん完成】



【2年：おもちゃの作り方】



【3年：河北町の魅力発信】



【4年：伝統工芸発表】



【5年：論文に挑戦】

西村山地区児童理科研究コンクール

優秀賞 5年 浅黄 さん

建設業労働災害防止図画コンクール

特選 5年 細矢 さん

入選 6年 菅 さん

入選 1年 細矢 さん

紅花の里こども俳句大会

秀逸 6年 大沼 さん「セミの声 夏の思い出 遠くなる」

小山田 英子選

佳作 6年 足立 さん「校庭で 宙返りする 赤とんぼ」

第31回河北オープン卓球大会・第58回河北町民卓球大会

ホープス男子 第1位 5年 布川 さん

ホープス女子 第3位 5年 佐藤 さん

カブ女子 第2位 4年 布川 さん

嘉納治五郎師範生誕祭絵画展

金賞 4年 後藤 さん 銅賞 1年 後藤 さん

おめでとう!